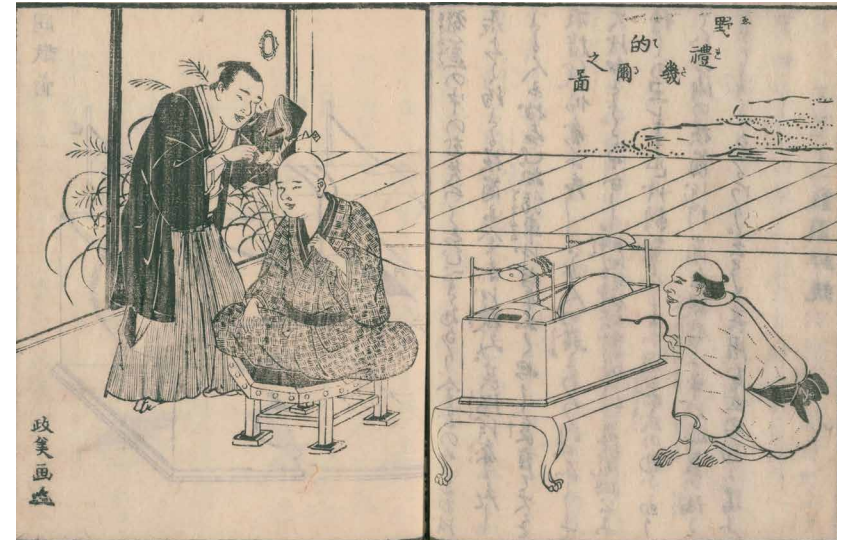


初の電気治療器「エレキテル」



エレキテルは、静電気を発生する装置で、電気応用治療器として使われました。エレキテルの初渡来は宝暦元年(1751)とも宝暦13年(1763)とも言われています。平賀源内ひらがげんないは、壊れたエレキテルを長崎で入手し、6年かけて、1776年に復元に成功しました。源内のエレキテルは、静電気を発生させる摩擦型の起電機で、供給電力が小さく、放電が一瞬で終わってしまうため、治療効果は定かではありませんでした。後に佐久間象山さくましょうざんが、電池を備え、より大きな電力を供給できる電磁誘導型の電気治療器を製作し、その後も明治時代まで多くの改良機が作られました。



エレキテル施術中の図(「紅毛雑話」より)

せつ つ めい しょ ず え こう もり どう
摂津名所図会「蝙蝠堂」



大坂・伏見町にある蝙蝠堂は、エレキテル、ガラス製品、磁器、壺などの舶来品が置かれ、通行人の注目を浴びていました。異国の奇品が大坂で買えることを強調しています。

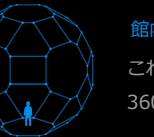


多くの種類の舶来品が並ぶ(摂津名所図絵より) 国立国会図書館 所蔵

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.